

事業所名: グループホーム秋桜

作成日: 平成 30 年 11 月 3 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	日々の座っている時間等を把握し、エコノミー症候群対策を検討する。	気分転換や下肢筋力の維持に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の生活の中で、椅子やソファーに移る。隣のユニットに行ったり、ゴミ捨てなど、歩く機会を増やす。 ○近隣まで散歩する。 ○臥床⇄離床のメリハリをつける。 	24 ヶ月
2	36	入居者に対して、尊厳を守る。	入居者や職員への言動に気を配る。	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月、『尊厳を守る行動計画書』にて自己評価する。 ○身体拘束廃止の勉強会にて、再確認する。 ○発する言葉だけでなく、声の大きさやトーンにも注意する。 ○その都度、職員へ指導助言を行う。 	24 ヶ月
3	20 48	笑顔が増える取り組みを行う。	入居者1人ひとりに応じた支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月、入居者と一緒におやつ作りを行う。 ○目的地を決定し、外出する。(ドライブ含む)可能な場合は、御家族も一緒に外出する。 ○家事活動(洗濯物たたみやテーブル拭き等)を継続する。 	24 ヶ月
4	23 26	アセスメント様式を変更する。	アセスメント様式を変更し、「できる事」「できそうな事」を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ○「生活歴」「介助が必要な理由」「できそうな事」「各活動の要望」等をアセスメントを増やす。 ○わからない事は、御家族に確認する。 ○ケアプラン作成時、職員間で情報を共有する。 	24 ヶ月
5					ヶ月